

 **第一興商**

2025年3月期

決算補足説明資料

2025年5月12日



01

2025年3月期 決算概要

02

2026年3月期の見通し

2025年3月期 決算サマリー

売上高・当期純利益が過去最高を達成し、事業基盤が堅調に拡大

- 市場環境は緩やかに改善し、**売上高は前期比4.3%増(過去最高)**
- 給与のベースアップのほか、各事業への投資を積極的に推進し、営業利益減益となったものの、

EBITDAは前期比3.3%増

業務用カラオケ事業: DAM稼働台数が堅調に増加し、前期末比+1%

カラオケ・飲食店舗事業: 既存店前年比 (カラオケルーム)+2%、(飲食)+3%

パーキング事業: 期末施設数 3,900施設 44,000車室 と堅調に増加

- 当期純利益は特別利益の増加や、業績回復に伴う繰延税金資産の積み増しなどの影響により、

前期比44.6%増(過去最高)

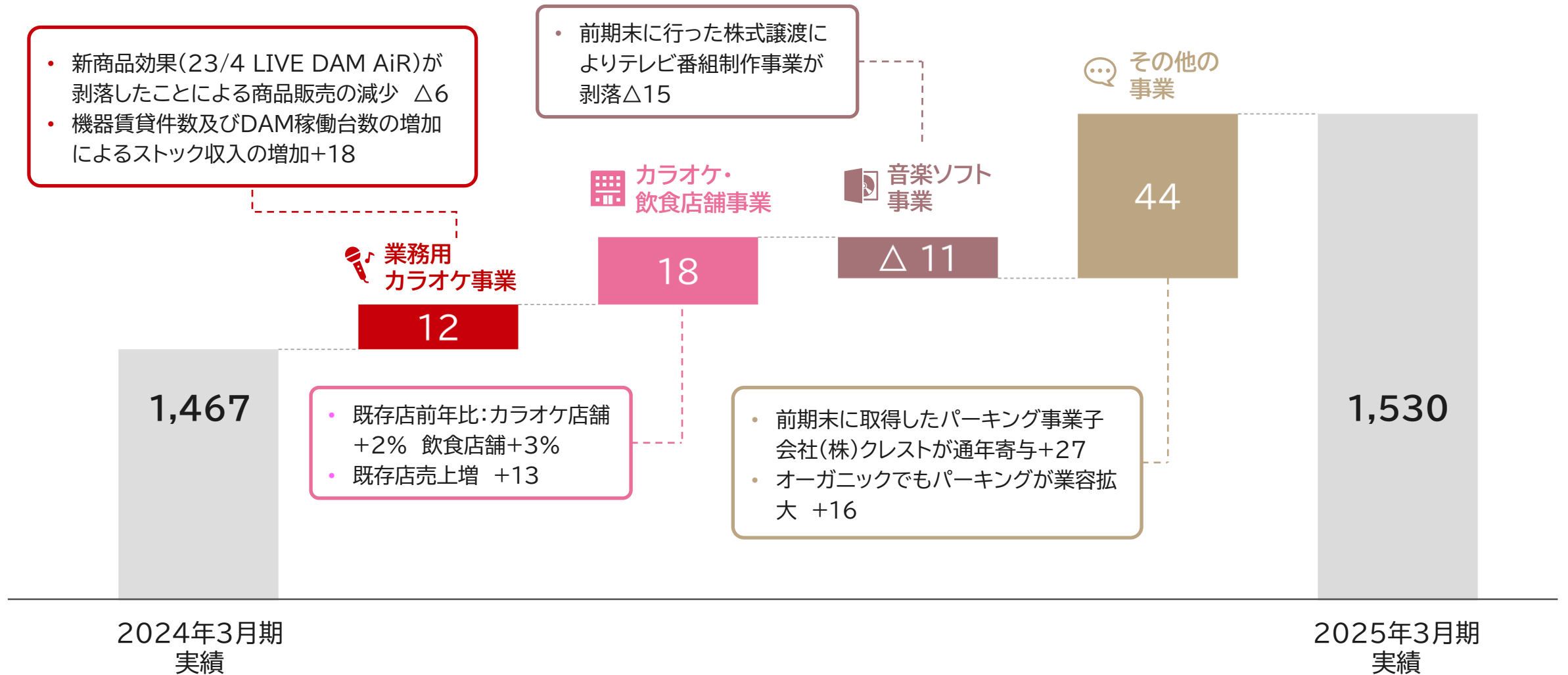
2025年3月期 業績ハイライト

営業利益・経常利益では予想を若干下回ったものの、
当期純利益は繰延税金資産の積み増しの影響等により上振れる

(単位:百万円)	2024年/3月期	2025年/3月期			
	実績	実績	業績予想	前期比 (%)	予想比 (%)
売上高	146,746	153,020	152,700	4.3	0.2
売上総利益	52,602	53,757	54,470	2.2	△1.3
販売費及び一般管理費	34,000	35,811	35,670	5.3	0.4
営業利益	18,601	17,945	18,800	△3.5	△4.5
経常利益	19,561	18,396	18,900	△6.0	△2.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,568	18,178	16,200	44.6	12.2

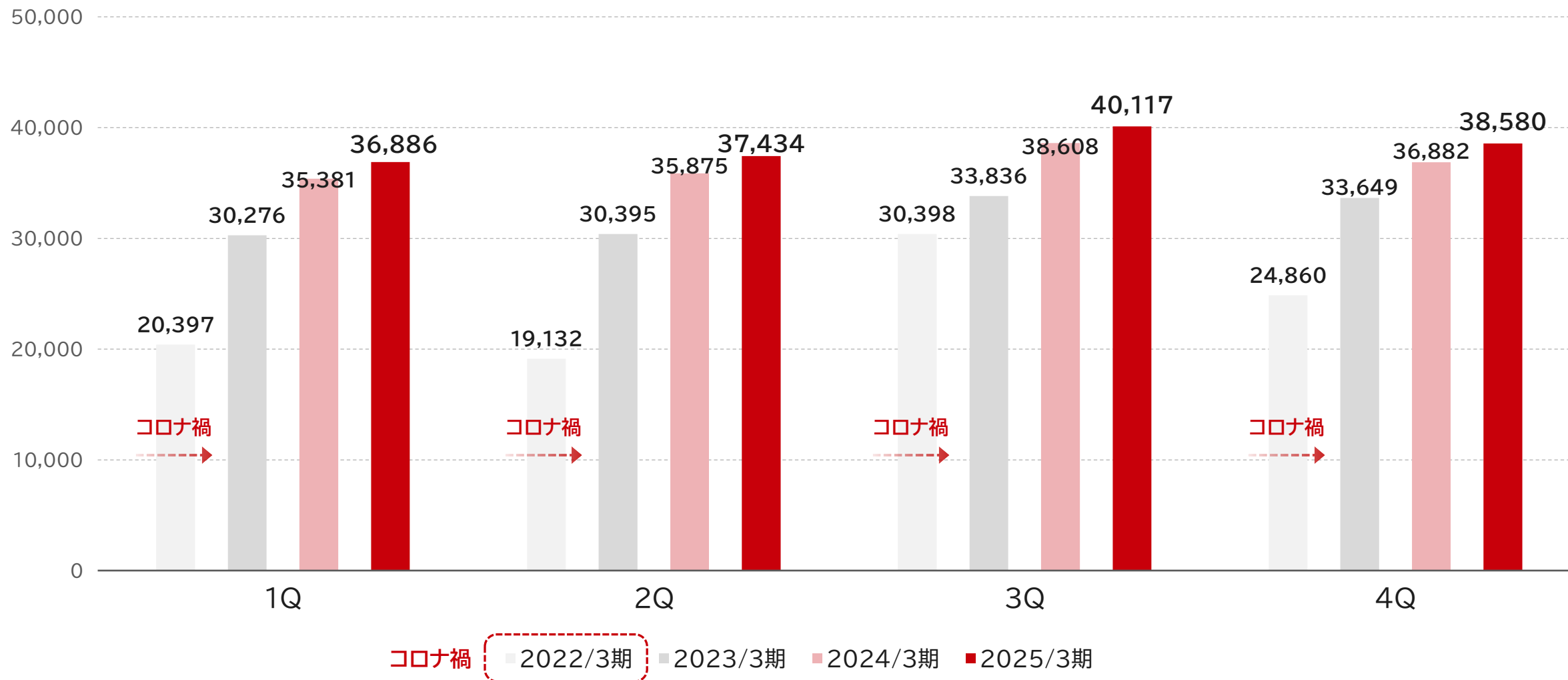
売上高増減要因分析

(億円)



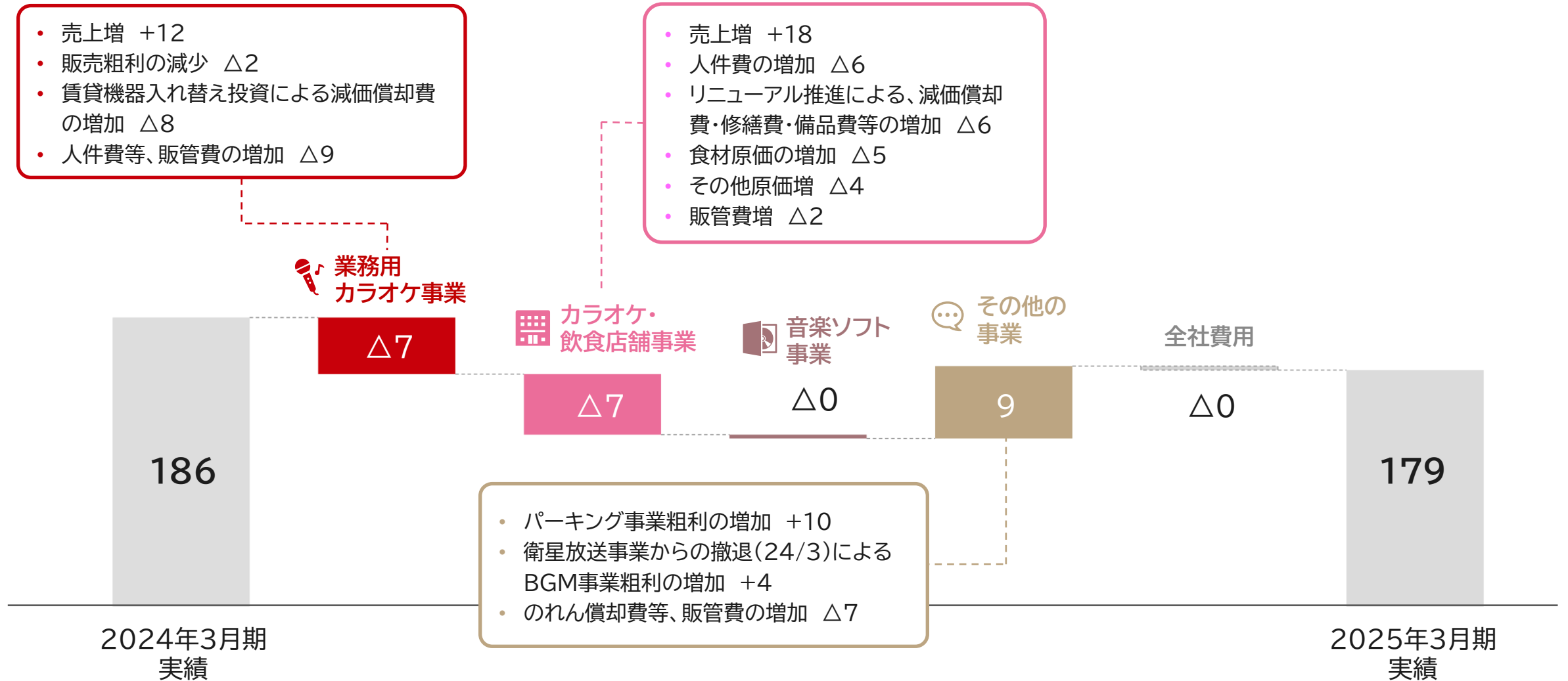
四半期別売上高推移

(百万円)



営業利益増減要因分析

(億円)



事業環境(業務用カラオケ)

 事業環境

- ・ 主力市場であるナイト市場及び成長市場であるエルダー市場を中心として緩やかに改善が進み、当期末のDAM稼働台数は、前期末比1%増
- ・ 前期に引き続き賃貸機器の新機種への入替え推進による、安定的収益基盤を強化
- ・ 映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力を強化

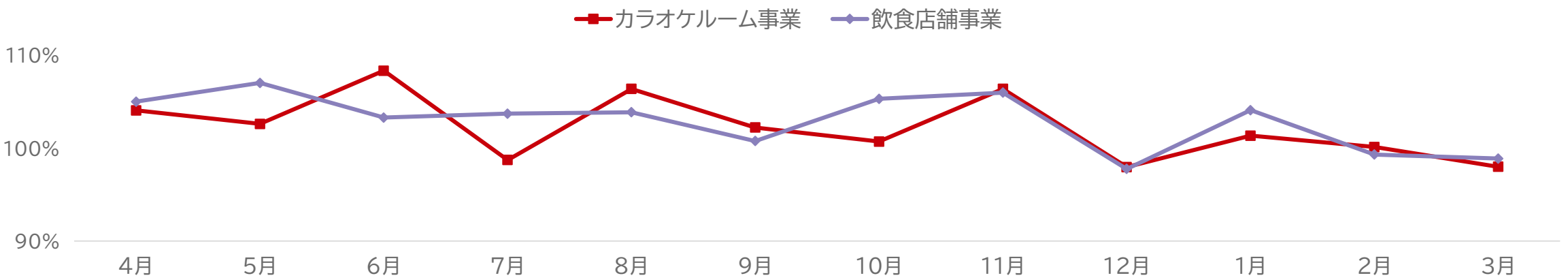
事業セグメント別のKPI



事業環境(カラオケ・飲食店舗事業)

-  **事業環境**
- ・ 店舗の集客について、前期からの上昇傾向が下期にかけてやや緩やかに
 - ・ 既存店売上高はカラオケ店舗+2%、飲食店舗+3%

2025年3月期 カラオケ事業・飲食事業の既存店売上高推移(前年比)



事業名	2025/3期実績(前年比)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
カラオケ事業	104%	103%	108%	99%	106%	102%	101%	106%	98%	101%	100%	98%
飲食事業	105%	107%	103%	104%	104%	101%	105%	106%	98%	104%	99%	99%

連結貸借対照表

借入金の返済が進み、自己資本比率は55.6%と前期末比4.6%上昇

	2024年3月期		2025年3月期	
	(単位:百万円)	実績	実績	前期比(%) コメント
流動資産		73,479	67,543	△8.1% 現預金の減少
固定資産		137,906	141,773	2.8% 売却による土地の減少 賃貸用カラオケ機器や店舗設備等の増加
資産合計		211,386	209,316	△1.0%
流動負債		36,914	35,990	△2.5%
固定負債		65,480	55,463	△15.3% 長期借入金の減少
負債合計		102,394	91,454	△10.7%
株主資本		106,340	114,481	7.7%
その他包括利益累計額		1,240	1,851	49.2%
純資産合計		108,991	117,862	8.1%
負債・純資産合計		211,386	209,316	△1.0%

連結キャッシュ・フロー計算書

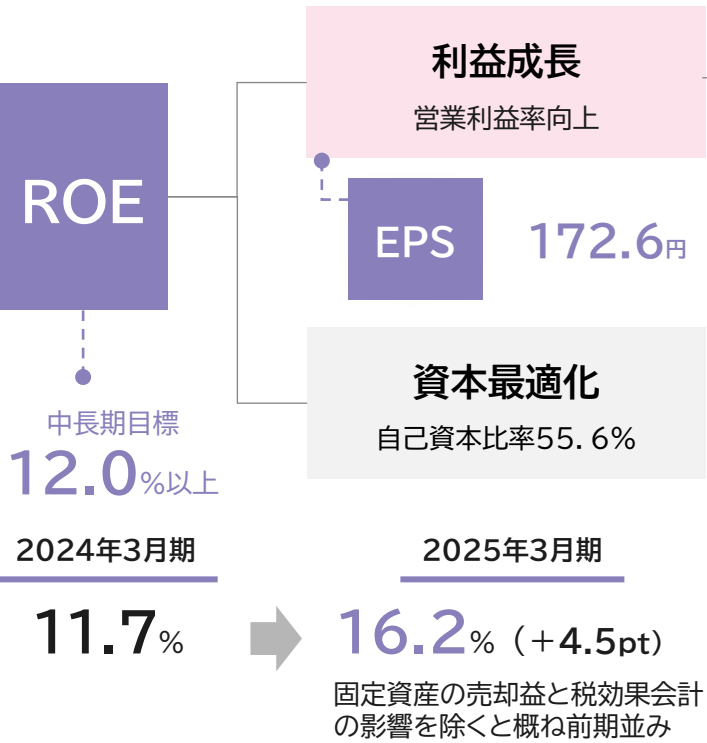
前期行った固定資産(本社ビル)の取得とそれに伴う借入が剥落したことで
フリー・キャッシュ・フローが大幅に改善

(単位:百万円)	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,799	24,656	△2,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 55,915	△11,445	44,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,926	△20,901	△27,828
現金及び現金同等物の期首残高	71,423	49,306	△22,117
現金及び現金同等物の期末残高	49,306	41,584	△7,721
フリー・キャッシュ・フロー	△ 29,115	13,210	42,326

連結経営指標

業務用カラオケ事業及びカラオケ・飲食店舗事業においては投資による減価償却費や人件費の増加等により利益率が減少した一方で、パーキング事業が伸長

会社全体で重要視する経営指標



事業セグメント別の営業利益率

	2024年3月期	2025年3月期
業務用カラオケ事業	20.3%	18.7%
カラオケ・飲食店舗事業	11.0%	9.5%
音楽ソフト事業	5.5%	5.9%
その他事業	10.4%	12.7%

事業セグメント別のKPI

	2024年3月期	2025年3月期
DAM稼働台数	21.7万台	22.0万台 (+1.3%)
機器賃貸件数	11.2万台	11.4万台 (+1.6%)
カラオケ店舗数	506店	503店 (-3店)
飲食店舗数	159店	159店 (±0店)
パーキング施設数	3,300施設	3,900施設 (+600施設)
パーキング車室数	3.8万車室	4.4万車室 (+0.6万車室)

01 2025年3月期 決算概要



02 2026年3月期の見通し

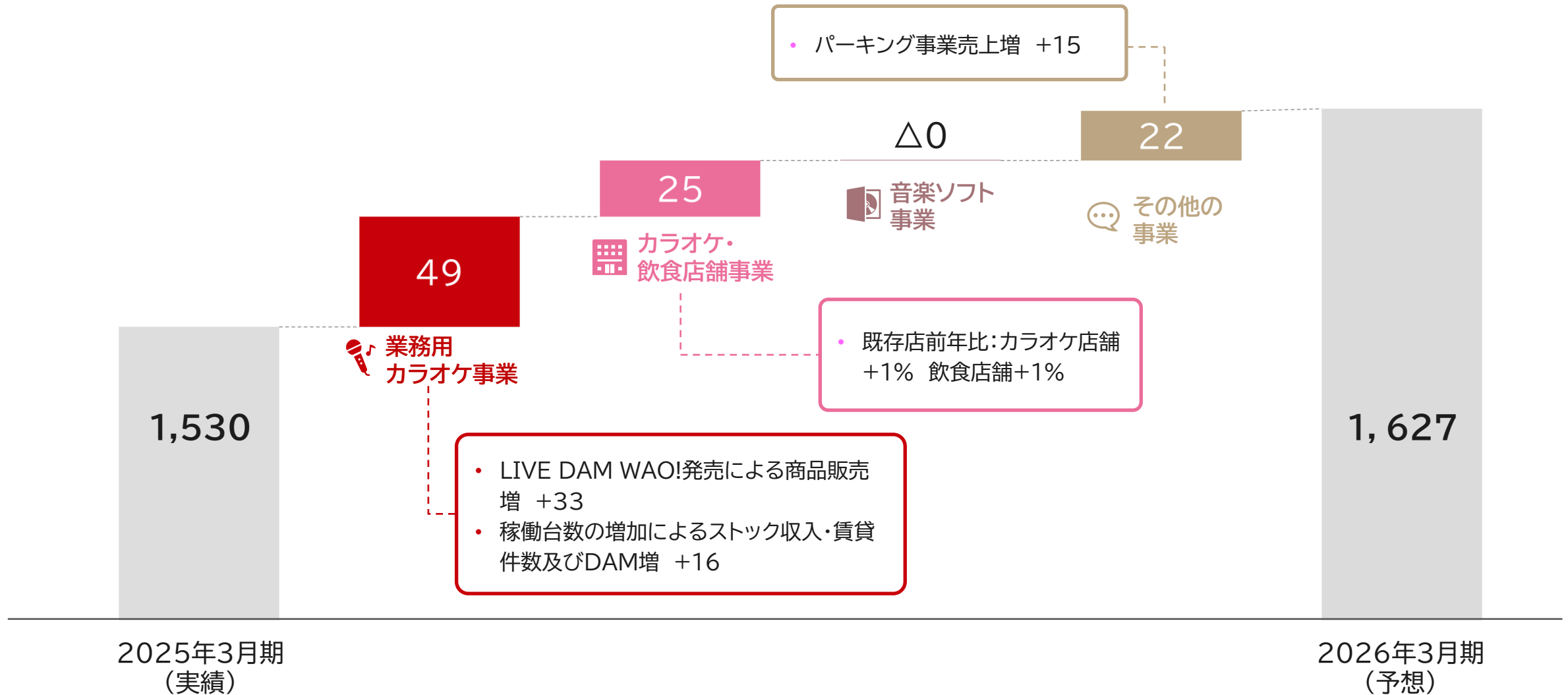
2026年3月期業績予想

新商品「LIVE DAM WAO！」発売により増収も、設備投資や
プロモーション費用等により営業利益は横ばいと予想

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期		
	実績	予想	前期比(%)	前期比(額)
売上高	153,020	162,700	6.3%	9,679
営業利益	17,945	18,000	0.3%	54
営業利益率(%)	11.7%	11.1%	—	△0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,178	13,000	△28.5%	△5,178

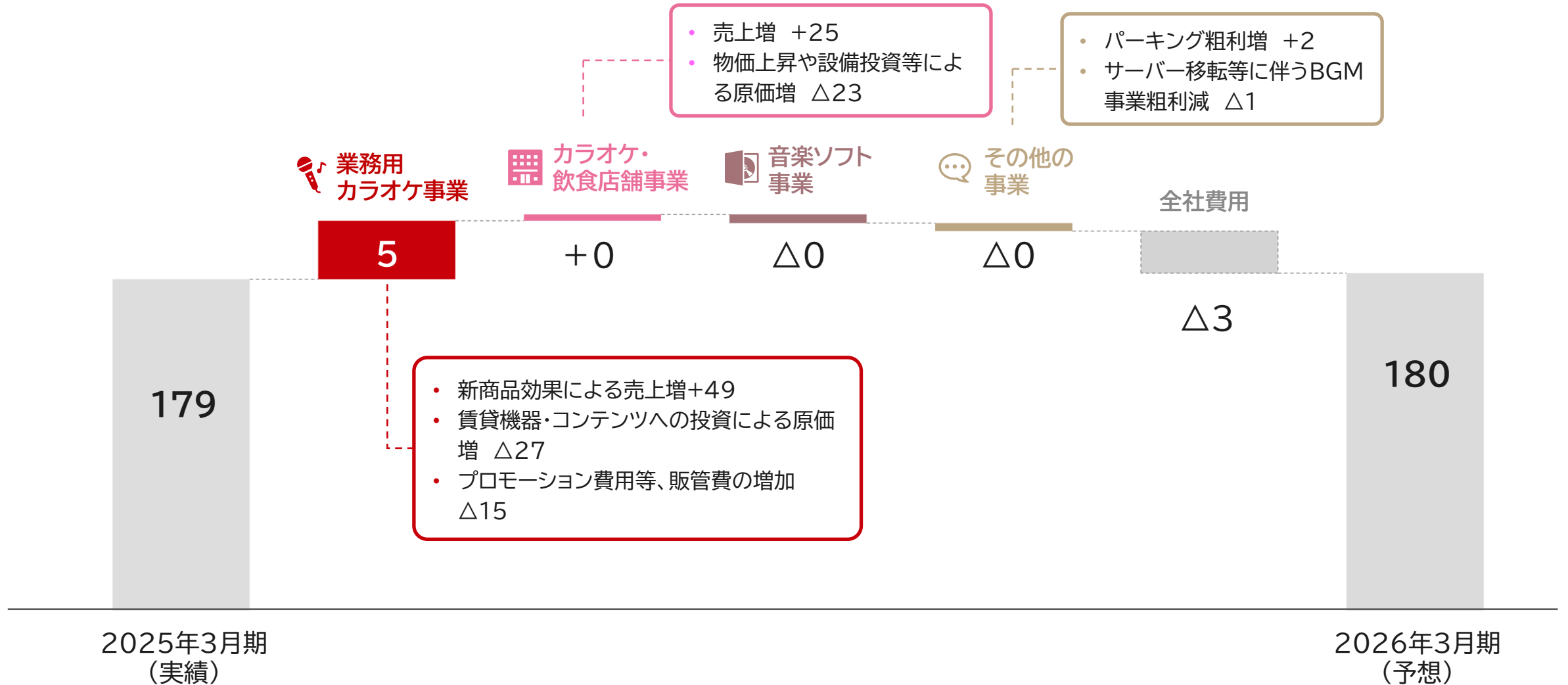
売上高増減要因分析

(億円)



2026年3月期営業利益予想 増減要因分析

(億円)



2026年3月期 セグメント別業績予想



業務用カラオケ事業

- ナイト市場向け
- エルダー市場向け
- カラオケボックス市場

セグメント別売上高

67,200百万円 +7.9%

セグメント別営業利益

12,200百万円 +4.5%



音楽ソフト事業

セグメント別売上高

5,500百万円 △1.0%

セグメント別営業利益

250百万円 △23.2%

売上高

162,700
百万円

営業利益

18,000
百万円

カラオケ・飲食店舗事業

セグメント別売上高

69,100百万円 +3.8%

セグメント別営業利益

6,400百万円 +0.9%



その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

セグメント別売上高

20,900百万円 +12.2%

セグメント別営業利益

2,300百万円 △3.1%

2026年3月期 セグメント別実施施策



業務用カラオケ事業

ナイト市場

- さらなるシェア向上を図る
- 旧機種からの入替を推進

カラオケボックス市場

- DAMの新フラッグシップ「LIVEDAMWAO!」の拡販
- 旧機種からの入替を推進

エルダー市場

- エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE」の拡販と新機能の訴求で、健康寿命の延伸、介護施設職員の業務負担軽減に貢献していく

共通

- 新商品活性化・プロモーション活動により、カラオケ産業全体の活性化とカラオケ利用者のすそ野の拡大を図る

その他の市場

- スーパーマーケットなど異業種との協業や、ボックス型カラオケ「COCOKARA」の活用により、「新たな歌う場」の創出



音楽ソフト事業

重点施策

- 新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築



カラオケ・飲食店舗事業

カラオケ店舗

- LIVE DAM WAO!の新機能をいち早く体験いただくため、早期に全店導入
- メーカー直営店として、設備とサービスの両面を充実させ、顧客満足度向上を図る

飲食店舗

- 顧客のニーズを捉えた新たなブランドの開発に注力
- 主力業態である個室ダイニングのほか、カラオケやダーツなどのアミューズメントを含めた幅広い客層の開拓



その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

パーキング事業

- M&Aを含む新規施設開拓を進め、さらなる事業規模の成長
- テレビCMなどを通じた「ザ・パーク」ブランドの認知拡大

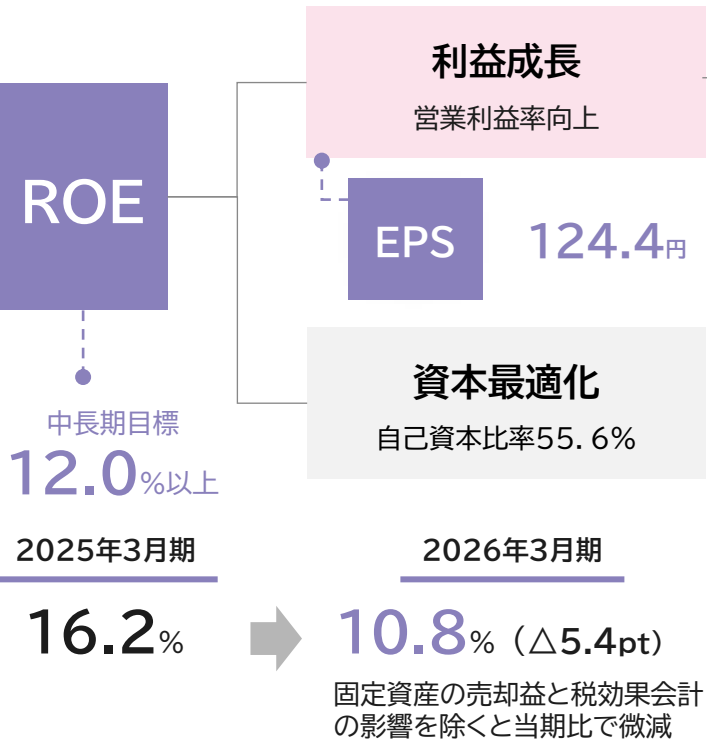
全社

- 2026年2月頃には本社機能の移転を予定。現在3か所に分散している本社を1か所へ集約、部門間のコミュニケーションをより活性化し、生産性の向上と新たなイノベーションの創出を図る

2026年3月期 連結経営指標計画

新商品発売効果による売上増と設備投資等による費用増により、営業利益は横ばい
新商品展開をはじめ各事業基盤の拡大を図る

会社全体で重要視する経営指標



事業セグメント別の営業利益率

	2025年3月期	2026年3月期(予想)
業務用カラオケ事業	18.7%	18.2%
カラオケ・飲食店舗事業	9.5%	9.3%
音楽ソフト事業	5.9%	4.5%
その他事業	12.7%	11.0%

事業セグメント別のKPI

	2025年3月期	2026年3月期(予想)
DAM稼働台数	22.0万台	22.5万台 (+2.3%)
機器賃貸件数	11.4万台	11.8万台 (+3.5%)
カラオケ店舗	503店 既存店前年比 102%	510店 101% (+7店) (△1pt)
飲食店舗	159店 既存店前年比 103%	171店 101% (+12店) (△2pt)
パーキング施設数	3,900施設	4,500施設 (+600施設)
パーキング車室数	4.4万車室	5.0万車室 (+0.6万車室)



 **Singing** 歌いながらいこう。

本説明会及び説明会資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会及び説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化などにより、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。